



In Hope Japan (IHJ)

「働く」事に希望を持てる人を増やす。

未来の自分に希望・期待できる社会を作る。

だから「今」も輝く。

In Hope Japan とは？（目的）

「働く」ことに希望を持てる人を増やす。

「今自分の将来・働くことに不安を抱えている（でも前向きに希望を持ちたい、この状況をなんとかしたいと思っている）」人と「不安・悩みを抱えていた時期があった、でも“今”楽しく働いている」人がつながる場所・活動が In Hope JAPAN (IHJ) です。

日本では、「働き方」「仕事とは？」を知る教育を受けずして、学生から急に社会人になります。

学生の頃は、「親」もしくは「教師」位しか働く大人を知りません。身近な親や教師が毎日イキイキ楽しく働く姿を見せてくれていたら、きっと「そんな風になりたい！」「早く働きたい！」と思う人は増えると思います。しかし、そうでない場合、もしくは自分の未来像がイメージできない場合「働くこと」に希望が持てなくなるのは当然です。日本の高校生の7割以上が「将来に希望が持てない」と答える結果にダイレクトに表れています。また、シンプルに「働くこと」を知らないから「選べない、未来に向かえない」人が多いと考えています。

この活動のはじまり

高校1年の時。「将来やりたいことがない」「自分の未来に期待できない」ことで人生で一番悩んだ時期を過ごしました。それは、ベースに「自分に期待している」からでもありました。自分は何か人と違うことをしたい！する人だ！そんな気持ちをもっているとしてより答えのだせないことが自分を苦しめました。しかし、周りの友人、家族にはその不安な気持ちや素直な気持ちを伝えられず。周りに「将来の夢」「仕事」について話すような人もいませんでした。そもそも「将来（仕事）は自分の中で決めるもの」「人に相談しないもの」と思い込んでいました。また、中には志望大学受験に向けてもくもくと頑張る友人たちやプロの〇〇になるという明確な目標を持っている友人たちの存在もありました。そんな彼らのことがとてもうらやましいと感じていました。なぜならば、目標があることで「今の行動（当時）」が未来につながっていると感じながら毎日を生きていくことが出来るから。人は止まっている時、向かうものがない時というのが辛いものだということをこの当時に実感しました。※目標がない場合「目の前のことに一生懸命取り組み」で素直に動ける人はOK。私はそのためのモチベーションをあげることがで

きないタイプだったからパフォーマンスがどうしても低くなっていました。(負のループ)

しかし、この後人生を一変させる「出逢い」「気付き」がありました。

それまでは「どんな職種がいいのか」「どんな業種が自分に合っているのか」を見つけようとしていました。言い換えると「外」に答えはあるもので「これが自分の好きな仕事だ！」という運命的なものをみつけないといけないものだと思っていました。しかし、そうではないと気付きました。肩書は同じ「薬剤師」「エステティシャン」「コンサルタント」「デザイナー」、でも、幸せに楽しく働く人もいれば毎日辛く感じて働く人もいます。楽しい働き方というのは探して見つけるものとは限らないと、“今”楽しく働く人達と沢山出会うことができたおかげで気付くことができました。なぜならば、その方達が仕事を始めたその日から「楽しい仕事に就けた！」「ずっと毎日楽しい！」とされているわけではないこと。

「自分で楽しくしていった」「これからもそうしていこうとしている」人達が多かったからです。

＝自分の好き、自分のなりたい状態を理解している必要があるわけです。つまり、答えは「自分の中」。どういう生き方をしたいのか ““どういう人になりたいのか” “どういう人と過ごしたいのか” “どういう人を幸せにしたいのか” …等々。

そこに気づけたことで、私の夢が出来ました。「(その当時の) 将来や仕事について悩んで苦しんでいる時の自分が1番会いたい人になりたい！」という夢です。そのためにはまず逆算して沢山の楽しく働く人を増やす活動をしなければいけない、楽しく働く人と出逢っていこう。それが今のマインドプラスの活動や起業家女子会です。

この10年で出逢った素晴らしい「今楽しく働く大人」達、これから出逢う方達に協力してもらい未来の子どもや若い世代へ「働くこと」に希望を与えられる社会団体を作ろう。それが、In Hope JAPAN (IHJ) です。IHJでは、私の人生が一変したような「出逢い」や「そこからの人生が輝くような気付き」を生み出せる場所にしたいと思っています。未来に希望が持てることで「今」をイキイキと幸せに生きることが出来る人を増やしていきたいです。

何を伝えるのか？

IHJは「どういう仕事・職業が楽しいのか」を伝える場所ではありません。今楽しく働く人が「自慢をする場所」でもありません。

どうやって「今の楽しさ」にたどり着いたのか、どう行動したのか、どういう出逢いを持ったのか、どうやって悩んだ時期・落ちた時期に行動したのか、這い上がったのか。どうやって「楽しくしていったのか」「これからもしていくのか」を知る場所にしたいと思っています。

なぜならば、

「今楽しく働く人達」の過去はほとんどの方が

「自分の将来・働くことに不安を抱えている（でも前向きに希望を持ちたい、この状況をなんとかしたいと思っている）」人達なのです。

そこを伝えられる団体を目指しています。色んなIHJのメンバーの「今」と「過去」、そして目指す「未来」をすることで「そうすればいいんだ！」「〇〇さんみたいになりたいです！」「私もそこ目指したい！」「それはやりたくない！」というように選択肢が広がると確信しています。

そもそも楽しく働くとは？

10年間3000人以上の起業家さんを見てきました。500人以上の起業家さんのブランディングを担当してきました。その方達の「今」へのたどり着き方、その方達を感じる“幸せ”“楽しさ”のポイント、行動基準は様々。つまり、人によって「楽しく働く」は違います。だから色んな視点を持っている人がいるというのを伝えていくことが大事だと考えています。そこから「自分」の幸せの形を見つけるヒントを見つけたいと思っています。

今楽しく働けていない人が変わるためには3つの選択肢がある

- ① 起業する ②今の仕事のままマインドや行動を変える ③転職する

まずスタート時は①起業で楽しく働く人と会える場所にしておく。しかしのちは変わる可能性あり。

参加するメリット

- ・本業も社会貢献であることはもちろん。それに+して社会に貢献できる。（「個」でできることと「組織」でできることは違う。）
- ・自分の人生の経験が「誰かの未来の希望」に変わるライフワークを持てる。
- ・この先、30年40年と高め合える仲間が出来る。
- ・「今楽しく働く自分」は伝える側かもしれないが、起業家は行動し続け、成長し続けることが求められます。「毎日楽しい〜」ばかりじゃなく（笑）挑戦すれば沢山の壁にぶつかったり落ちたりするもの。そんな時、IHJは自分も学び・気付ける場でもある。常に「伝える側」と「学ぶ・気付く側」の両方であり続ける意識が持てることが成長につながる。
- ・「楽しく仕事をしている人」がより「楽しく働ける」ような講座や勉強会もやっっていく予定なのでそれに参加でき、本業に+になる。

活動内容（仮）

- ✓ 「会える場所」を作る＝対話イベント・講演・キャリア教育プログラム 等。
- ✓ 「知る場所」を作る＝オンラインコミュニティ（WEBメディア）

目指すゴール

- ・全国にIHJのメンバーを増やし、全国でイベントや活動をしてくれる人を増やす。
- ・影響力を与えられる団体にしたい。
（このメンバー側にいつかなりたい！という人を増やす）
- ・企業、学校からのキャリア教育・講演・イベント開催依頼が入るプラットフォーム